

第二九〇回俳都松山俳句ポスト

第二九〇回開函

「櫟」副主宰 櫛部 天思 選

特選三句

本降りの雨が遍路の杖洗ふ

岡山県岡山市 田邊 善治

大盛りの坊ちゃん団子風光る

北海道札幌市 加藤 廣子

衿涼し百寿媪の伊予絋

愛媛県松山市 田中 和子

入選二十句

春惜しむ足湯に妻と膝揃へ

愛媛県西条市 和田 正

白梅や光集めて散る窓辺

大阪府茨木市 横井 博美

道草が楽しかりけり朝遍路

大阪府豊中市 山崎 美都恵

川上は神すむところ蝌蚪の紐

大阪府堺市 宮口 達哉

遠蛙地酒くみたき人のあり

大阪府堺市 宮口 真

天守閣よりかげろへる伊予の海

東京都武蔵野市 藤井 美晴

涅槃西風古き言の葉誘ひ出す

大阪府茨木市 中西 章子

旅立ちの子規の銅像青葉風

高知県須崎市 徳永 逸夫

湯上りの頬にかかりし春の雪

兵庫県神戸市 田中 祥夫

青葉して遠くなりけり寺の門

栃木県宇都宮市 高橋 すみ子

登城する殿にをり汗涼し

島根県江津市 篠原 てるみ

赤子来て湯屋さんざめく夏夕べ

東京都墨田区 川村 禎子

踏みてより気付く青梅大手門

埼玉県川口市 大杉 八重子

(市内)

追い風になる花菜風かもしれぬ

愛媛県松山市 松下 真佑

子規虚子も通ひし道後柳の芽

愛媛県松山市 西野 周次

涼風を皆ふり返る戸無門

愛媛県松山市 西 敏秋

櫛練りの腕の血潮や風光る

愛媛県松山市 小泉 柚乃

古ゆかた着て賓客に対しけり

愛媛県松山市 木戸 善章

(十五才以下)

若葉たち雨に洗われひかりだす

愛媛県松山市 矢野 晋之介

春の雲ぼっちゃんれっしや乗りたいな

愛媛県西予市 久保 輝紘

(伊予灘ものがたり賞)

緑映えて伊予の旅路に吉もらう

広島県広島市 永井 弘子

| | |
|-------|------|
| 投句総数 | 一五三〇 |
| 市外 | 一一二一 |
| 市内 | 四〇九 |
| 投句者総数 | 九〇五 |
| 市外 | 六六五 |
| 市内 | 二四〇 |

開函日

平成三十年五月三十一日